

## ハイ・パフォーマンス NXシリーズ・ソリューション

負荷分散構成のFIREEYE SSL INTERCEPTで  
最大10 GBPSのスループットを実現

ソリューション概要

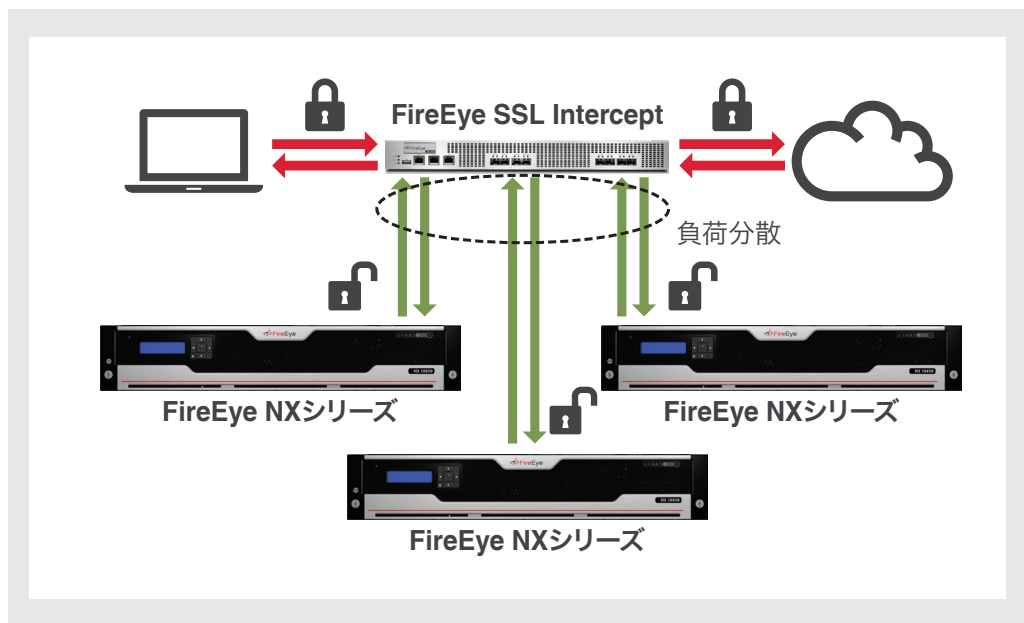
SECURITY  
REIMAGINED

### 4 Gbpsで足りない場合の解決策

FireEye NXシリーズは、インライン・モードで最大4 Gbpsのスループットに対応し、最大4万ユーザーをサポートしています。これは、ほとんどの大規模環境のパフォーマンス要件を満たす性能です。これ以上のパフォーマンスが求められる場合には、FireEye SSL Interceptアプライアンスがその解決策を提供します。同アプライアンスの負荷分散機能を使用すると、最大3台のNXシリーズ・デバイスを接続し、アクティブなインライン・モードで最大10 Gbpsのスループットを実現できます。パッシブなモニタリング・モードでは、2台のNXシリーズ・デバイスを接続すれば最大8 Gbpsのスループットを発揮します。

### アクティブなインライン・モード+負荷分散

FireEye SSL InterceptとNXシリーズをインライン・モードで導入すると、ネットワークに送られてきたエクスプロイトやマルウェア、ネットワーク内の感染エンドポイントから行われる外部へのコールバック通信を即座にブロックできます。アクティブなインライン・モードは、攻撃活動を直ちに遮断する場合に使用します。この構成で、1~3台のNXシリーズ・デバイスをFireEye SSL Interceptアプライアンスに接続すると、トラフィックの負荷を各デバイスに分散できます。

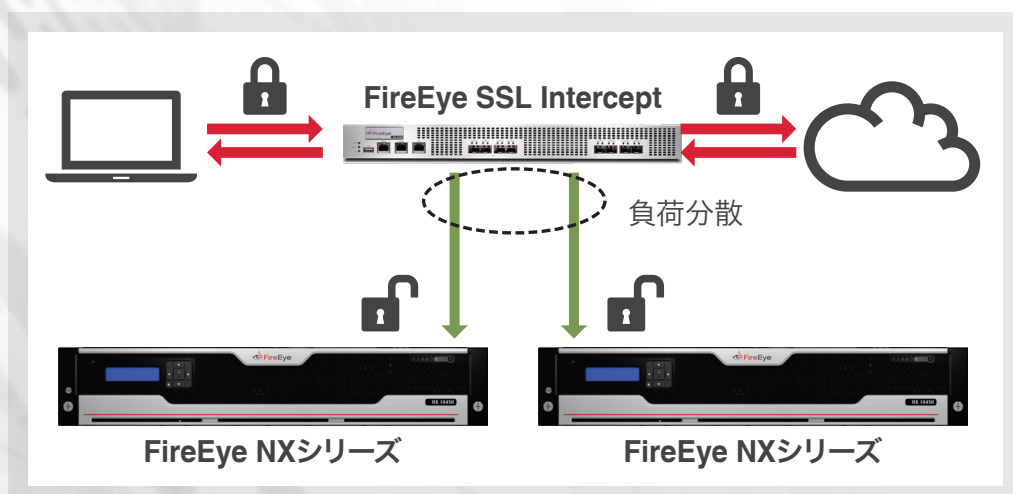


FireEye SSL Interceptと3台のNX 10450をインライン・モードで導入した場合のパフォーマンス例	
パフォーマンス	10 Gbps
ユーザー数	12万
同時IPSセッション数	600万
新規IPS接続数/秒	12万/秒
パケット数/秒	36万/秒

### パッシブなモニタリング・モード+負荷分散

ネットワークに送られてきたエクスプロイトやマルウェア、ネットワーク内の感染エンドポイントから行われる外部へのコールバック通信を検知するだけの場合は、FireEye SSL InterceptとNXシリーズをパッシブなタップ・モードで導入します。この場合、FireEye SSL Interceptアプ

リアンスは、着信ポートのトラフィックを、NXシリーズ・デバイスに接続された特定のポートにミラーしながら負荷分散します。2台のNXシリーズ・デバイスをFireEye SSL Interceptアプライアンスに接続すると、ミラーされたトラフィックの負荷を各デバイスに分散できます。



FireEye SSL Interceptと2台のNX 10450をタップ・モードで導入した場合のパフォーマンス例	
パフォーマンス	8 Gbps
ユーザー数	8万
同時IPSセッション数	400万
新規IPS接続数/秒	8万/秒
パケット数/秒	24万/秒

FireEye SSL InterceptとNXシリーズは、この他にも、明示的プロキシなどさまざまな構成で導入できます。詳細については、FireEyeの技術文書をご覧ください。